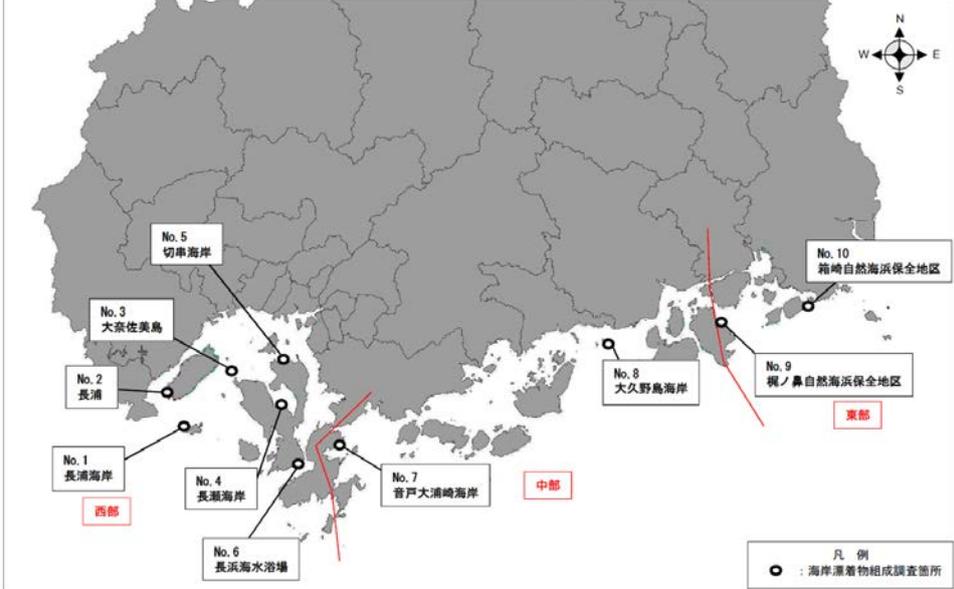


<p>モニタリング (効果の確認 方法)の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[調査項目]海ごみ(人工物)の量と組成 ・[調査時期・頻度]春夏秋冬(年4回) ・[調査場所]図1、2参照 ・[調査点数]135地点(県内135海岸) ・[モニタリング方法]135海岸で目視調査によりゴミ量を把握し(「水辺の散乱ごみの評価手法(海岸版)」(国土交通省)に準拠),うち10海岸はゴミを持ち帰り分類・計測して,県全体及び西・中・東の3地域のゴミ量と種類を推計  <p>出典: 広島県海岸漂着物実態調査報告書(平成30年度) 図2 海岸漂着物組成調査箇所(10海岸)</p>
<p>取組による効果・影響及びその判断基準等</p>	<p>県内全域の海岸漂着物の量と種類について基礎資料を得ることができた。</p>
<p>モニタリング結果の分析及び活用の方法</p>	<p>海ごみ発生抑制対策の基礎資料として活用予定</p>
<p>現状での課題 今後の予定等</p>	<p>調査の結果を今後の発生源対策やごみ回収活動に活用していくこと。 継続予定</p>
<p>取組事例についての発表資料等</p>	<p>広島県海岸漂着物実態調査報告書(平成30年度) → https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/352168.pdf</p>
<p>情報提供元</p>	<p>広島県 環境県民局 環境保全課</p>